

# 奈義町教育委員会の取組

幼小中連携・端末持ち帰り・遠隔授業



## GIGAスクール構想実現に向けた奈義町教育委員会の取組

### 【概要】

2幼稚園（中央東・滝川つくし）と奈義小学校、奈義中学校を所管する奈義町教育委員会。小学校・中学校だけではなく、幼稚園も含めた取組が特徴です。町教委がリーダーシップを発揮した基本方針・ロードマップ策定、教職員研修、端末持ち帰り、遠隔授業、積極的な情報発信を中心に紹介します。

ICT環境の整備状況は、①1人1台端末（Windows）、②Google Workspace for Education Fundamentals、Office365、③AIドリル（小；タブレットドリル、中；eライブラリ）④教材提示装置、⑤デジタル教科書。

### 【教育の情報化の推進に関するポイント】

## A 基本方針・ロードマップの策定

### 1 【基本方針】

- ・1人1台端末の整備について、保護者に持ち帰りを前提として通知している。児童生徒には、ノートパソコン活用のルールを策定し、周知している。さらに、家庭での活用を進めるため、充電器やインターネット通信環境の整備も町が助成している。
- ・授業だけではなく、休み時間や家庭でもドリル教材を使った復習やインターネットでの調べ学習などに活用できるようにしている。

### 2 【ロードマップ】

- ・令和3年8月から令和4年4月まで、次の5項目について、ロードマップを策定し、見直しをもった取組を進めている。
- ①ICT活用指導力向上研修、②教師用タブレット端末等の活用、③児童生徒用タブレットの活用、④保護者・地域への公開等、⑤児童生徒用タブレットの持ち帰りによる家庭での活用。

奈義町立小中学校 ノートパソコン活用のルール

令和3年2月

学習内容をよく理解し、より豊かな学びにしたいためにノートパソコン活用に活用していくことが大切。ノートパソコンはみなさんの学習に役立つための道具です。でも、乱用されることもたくさんあります。そのため、奈義町立小中学校では、「ノートパソコン活用のルール」を定めました。みなさんでこのルールを守り、ノートパソコンを「安全・健全・快適」に活用していきましょう。

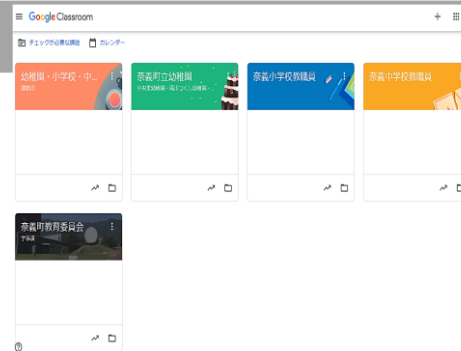
- 1 目的**
  - ・学校で貸し出すノートパソコンは、学習活動のために使うことが目的です。学習活動に関すること以外に使うことはできません。
- 2 使用する場所**
  - ・原則として学校と家庭で使います。
  - ・落としたり、なくしたり、壊しにしたりしないように丁寧に扱います。
  - ・持ったまま走り回り、転倒させたりしないようにします。
  - ・茶をかけたり、しっけの染みなどでは使ったりしないようにします。また、暑熱対策がたかるところやストーブの近くなどには置かないようにします。
  - ・指でさわると、画面が汚れることがあります。濡れたハンカチなどで拭き、乾かしたり、拭き取ったりはしないでください。
  - ・家に持ち帰るとき、必ず校中ではノートパソコンを 가방から出しません。
- 3 学校で使う場合**
  - ・学校でノートパソコンを使うときは、先生の指示をよく守ります。
  - ・先生の指示により、持ち帰る場合にも使うこともありますが、先生の勧めたこと以外には使いません。
  - ・保護者は、新着版の充電ケーブルを入れて、充電をお願いします。
- 4 家庭で使う場合**
  - ・勉強する時間以外のときよく遊ぶ、長時間使わず、よく休むようにしましょう。
  - ・ノートパソコンを家に持ち帰っている時は、家の入の扉の鍵かこころに置いておきます。
  - ・遊ぶ1時間前には休めます。

R3 GIGAスクール構想に係るICT機器等活用ロードマップ

## B 教育委員会からのアプローチ

### 3 【校種を越えたつながり】

- ・町教研の「ICT活用推進チーム会」を中心に取組の連携や共通理解を図っている。
- ・町教委と幼稚園・小学校・中学校がつながるGoogle Classroomを作成し、教職員研修や連絡事項のやりとり等に活用している。



### 4 【校務の効率化】

- ・Google Calendarの予約枠機能やGoogle Formsのアンケート機能を使って、町教委と幼稚園・小学校・中学校との会議、学校行事の日程調整を行っている。連絡調整が簡単になり、働き方改革につながっている。



## C 教職員研修

### 5 【教職員研修】～授業改善に生かす～

- ・GIGAスクール構想の概要やイメージから、Googleのさまざまなアプリの体験、さらに、授業におけるICT活用について等、段階的かつニーズに合わせた研修を支援している。
- ・授業公開には、小学校・中学校とも同じ外部講師を招聘し、授業改善に生かしている。



## D 端末持ち帰り

### 6 【タブレット端末持ち帰り】

- ・小学校（4年生以上）、中学校（全学年）で、週末と長期休業中に端末の持ち帰りを実施している。児童生徒は、AIドリルや調べ学習等、主体的に活用している。
- ・セキュリティ対策として、インターネットで検索できるページを選別したり、ウイルス対策をしたりしている。

### 7 【オンライン登校】

- ・Google Meetを使い、小学校・中学校とも夏休みの1日をオンライン登校日として実施した。夏休みの思い出や宿題の進み具合、東京五輪などについて話し合った。

### 8 【遠隔授業】

- ・次の3つの場合を想定して小学校・中学校とも2学期から何度も遠隔授業を試行している。①臨時休業、学年・学級閉鎖になった場合、②出席停止の児童生徒がいる場合、③教師が在宅勤務になった場合。



## E 積極的な情報発信

### 9 【教育委員会通信】

- ・町教委の取組を保護者に周知するため、毎月1日、15日に「奈義町教育委員会通信」を発行している。図や写真、Q&Aなど分かりやすい工夫をしている。また、Formsを活用したアンケートも実施している。
- ・GIGAスクール構想については、基本構想、幼稚園・小学校・中学校での具体的な取組、持ち帰りにおける家庭でのルールづくり等について、タイムリーにお知らせをしている。



## 【まとめ】

奈義町教育委員会では、2幼稚園、1小学校、1中学校という規模を強みとして、**町として、まとまりのある取組**を意欲的に推進しています。学校だけでなく、家庭での端末活用を見越した取組が進んでいます。

**児童生徒**には、端末をまさに「文房具」として「**とことん、使ってほしい**」、**教職員**には、「**分かる・できる授業のために、自分で工夫してICT機器を活用してほしい。そのための支援を積極的にしたい**」といった言葉が印象的でした。

「Facebook」には、GIGAスクール構想実現に向けた取組はもちろん、生き生きとした姿が随時掲載されています。ぜひご覧ください。

「奈義町教育委員会」更新中！

